

報道各位

小山薫堂が祖先を訪ねて…ナレーションは長崎生まれの福山雅治！
エフエム長崎・TOKYO FM 共同制作 世界遺産登録記念特別番組
『世界文化遺産の礎を築いた男～小山秀之進と長崎』
8月22日(土) 22:00～22:55 放送

TOKYO FMでは8月22日(土)22:00からTOKYO FM特別企画 世界遺産登録記念特別番組『世界文化遺産の礎を築いた男～小山秀之進と長崎』を放送致します。番組では、熊本・天草出身の放送作家・小山薫堂の高祖父で、グラバー邸などの建築物を手がけた人物「小山秀之進」に焦点を当てながら、日本の産業革命の発祥ともいえる「長崎」の礎を築いた男たちの功績を紐解き、現代の日本が取り戻すべき、活力や発想を探求していきます。

ナレーションは、小山薫堂と同じく九州は長崎出身で、小山薫堂と親交のある福山雅治がつとめます。8月22日(土)の放送を、どうぞご期待ください。



◇九州男児・小山薫堂と福山雅治が、明治日本の産業革命を支えた長崎の男たちに迫る！

2015年7月5日、『明治日本の産業革命遺産』が世界文化遺産に正式に登録されました。長崎市には、端島炭坑やグラバー邸(旧グラバー住宅)など8つの施設が世界文化遺産の構成資産があります。さらに観光地としても有名な大浦天主堂等の施設を含む「長崎の教会群とキリスト教関連遺産(長崎県、熊本県)」も、2016年のユネスコ世界遺産委員会での登録が見込まれています。

これら長崎・熊本の世界遺産に深く関わるひとりの人物がいます。それが放送作家・小山薫堂の高祖父にあたる棟梁・小山秀之進。洋風の建築技術も確立していない明治時代に、外国人を相手に在来の日本の建築技術を駆使し、幕末明治初期の長崎居留地にあるグラバー邸や、日本最古の現存するキリスト教建築物・大浦天主堂などを建設しました。オランダ坂をはじめとする長崎の異国情緒あふれる街並みを故郷・天草の石で造りあげたのも、彼の発案だったといえます。

このように様々な偉業を成し遂げ、明治日本の産業革命に多大な影響を与えながらも、一般にはあまり知られていない「小山秀之進」や周辺人物を、小山薫堂が様々な角度から取材し、日本の産業革命の発祥ともいえる「長崎」の礎を築いた男たちの功績を紐解いていきます。

ナレーションをつとめるのは、長崎出身で小山薫堂と親交のある福山雅治です。8月22日(土)22時からの放送を、どうぞお楽しみに。

【番組概要】

◆タイトル: エフエム長崎・TOKYO FM 共同制作 世界遺産登録記念特別番組『世界文化遺産の礎を築いた男～小山秀之進と長崎』

◆放送日時: 8月22日(土)22:00～22:55

◆企画制作: エフエム長崎・TOKYO FM

◆放送局: TOKYO FMをはじめとするJFN系列全国38局ネット

◆提供: 株式会社カステラ本家 福砂屋、シーマン商会、電気興行株式会社、グラバー園、長崎市、長崎ラッキーグループ、長崎バスグループ 長崎自動車株式会社、ゆうちょ銀行、ダンロップ